

## RP-03「中心市街地の活性化に向けた市民参加型戦略の基礎研究」

課題提案者：宮古市企画部復興推進課

研究代表者：盛岡短期大学部 内田信平

研究チーム員：多田康、岩間健、竹田真人（宮古市企画部復興推進課）

### <要 旨>

本研究では、宮古市中心市街地の活性化を目指して、「まちづくり市民会議season2（第2期）」の活動を実施した。第1期で示されたアイデアの具体化、実現に向けたワークショップ形式での話し合いを計7回実施した。そして、平成28年11月、宮古市中心市街地を会場に、これまでのワークショップで育んだアイデアを実践する場として「みやこ・わくわくストリート2016」を開催、多くの市民の方々に参加していただくことができた。

### 1 研究の概要（背景・目的等）

宮古市の中心市街地拠点施設整備事業、および、これに伴う現市庁舎跡地活用整備計画は、同市の震災復興後のまちづくりの命運をかけたプロジェクトであり、市民の意見を反映しながら進めていくことが重要である。この事業に関連する諸課題について、市民参加型の議論を進め、方向性を見出すことを目指している。

平成26年度後期の宮古市との地域協働研究（中心市街地の活性化に向けた市民参加型構想の研究）では、市民組織「まちづくり市民会議」の形成を行い、ワークショップ形式の会合を計8回実施した。最終回には市長にプレゼンテーションを行い、中心市街地で「何をしたいか、どう過ごしたいか」という視点での意見共有を行うことができた。

本研究では、新拠点施設の活用、現市庁舎跡地の活用を念頭に、第1期（前年度）の活動で示された市民によるアイデアの具体化を目指す。

### 2 研究の内容（方法・経過等）

新拠点施設の活用、現市庁舎跡地の活用を念頭に、第1期のワークショップ参加者を中心とした市民による活動の具体化を目指して、「まちづくり市民会議season2（第2期）」の活動を実施した。平成28年9月までに、アイデアの実現に向けたワークショップ形式での話し合いを計7回実施した。これらのワークショップを通じて、自分たちの考えた、中心市街地に賑わいを産み出すアイデアが具体的になり、実施に向けての準備を進めた。また、市民会議のfacebookページを立ち上げ、ワークショップの機会以外にも、各メンバーが情報交換、情報発信をするようになった。

そして、平成28年11月6日（日）に、宮古市中心市街地の3ヶ所のエリアを会場に、これまでのワークショップで育んだアイデアを実践する場として「みやこ・わくわくストリート2016」を開催、多くの市民の方々に参加していただくことができた。

また、研究成果については、平成28年11月に「岩手県立大学公開講座・宮古キャンパス講座」にて、「市民の力で“宮古まち”に賑わいを」と題して、参加した学生と共同でプレゼンテーションを行った。

### 3 これまで得られた研究の成果

本研究においては、「まちづくり市民会議season2」

メンバーによるワークショップを計7回、そして、そこで育んだアイデアを実現する場として「みやこわくわくストリート2016」を実施した。各回の実施内容を示す。

#### (1) 第1回市民ワークショップ

平成27年12月5日（土）市役所 参加者：38名

【これまでのアイデアやイメージを実現するためのキックオフ！】

今回から参加する方も多いため、まずは、第1期の活動の振り返りを実施。スポーツ系、広場あそび系、ステージ系、市・マルシェ系、くつろぎ・リラクセス系の5つのイメージを提示。興味のある分野ごとのグループを編成し、各グループでアイデアを出し合い、共有した。

#### (2) 第2回市民ワークショップ

平成28年1月23日（土）市役所分庁舎 参加者：32名

【アイデアの実現に向けて、戦略を描いてみよう！】

アイデアの実現に向けて。こんなことできるといいな…と考えたことについて、「いつ、誰が、どこで」実現できるかイメージしながら話し合いを行った。



#### (3) 第3回市民ワークショップ

平成28年5月28日（土）市役所 参加者：29名

【“まち歩き”からアイデアを選んで、動き出そう！】

アイデア実現のフィールドを見つけるために「まち歩き」を実施。その後、グループごとに、実践したいプロジェクトを書き出し、実現可能性や課題を整理した。最後に、メンバーそれぞれが、実現したい案へシールを貼って投票した。次回のワークショップまでに、今後の方向性について整理することとした。



#### (4) 第4回市民ワークショップ

平成28年6月25日(土) 市役所分庁舎 参加者28名

【アイデアを実現、「まち育て」の戦略をつくろう!】

これまで示されたアイデアを整理、新たに4つのグループに編成し直し、話し合いを行った。新たなグループと、各グループが実現を目指すプロジェクトは以下のとおり。

- ・健康長生きプロジェクト：ヨガ、ハーブティー
- ・宮古市アクティ部フェスティバル2016：「サスケ」型のスポーツ体験
- ・大人と子どもが楽しめる場所：昔あそびと駄菓子カフェ
- ・茶っとプロジェクト：カフェ、アートイベント



#### (5) 第5回市民ワークショップ

平成28年7月23日(土) 市役所分庁舎 参加者：25名

【「まち育て」の戦略をつくって発信しよう!】

各プロジェクトを実現するための戦略会議と位置づけて実施。実施日、場所、必要なもの、解決すべき課題などについて話し合い、各プロジェクトから報告を行った。実施日は10月23日(土)、24日(日)が候補となった。

#### (6) 第6回市民ワークショップ

平成28年8月27日(土) 市役所分庁舎 参加者：22名

【「まち育て」の戦略をつくって発信しよう!】

プロジェクト実現に向けての戦略会議の2回目。具体的な実施内容について検討を行った。また、全体の名称が「みやこ・わくわくストリート2016」と決定した。



#### (7) 第7回市民ワークショップ

平成28年9月24日(土) 市役所分庁舎 参加者：24名

【「まち育て」の戦略をつくって発信しよう!】

台風10号の影響により、日程を延期し、11月6日に開催することを決定。実現に向けての具体的な準備を行った。

#### (8) みやこ・わくわくストリート2016

平成28年11月6日(日)、末広町商店街から市役所分庁舎駐車場までの3ヶ所のエリアを会場として、ワークショップで育んだアイデアを実践する場「みやこ・わくわくストリート2016」を開催した。当日は好天に恵まれ、多くの市民の方々に参加していただくことができた。また、他団体とも連携し、ハンドメイド作品の展示・販売を行う「まんなかマルシェvol.5」や、伝統的な商家を利用した「みやこほっこり映画祭」プレイベントも、同日に開催された。

中心市街地の商店街の駐車場や空き店舗だった「空間」が、市民の生き生きとした活動の「場所」に変わる

様子を目の当たりにした1日となった。

当日実施した各プロジェクトの概要を以下に示す。

#### ■宮古市アクティ部フェスティバル2016

商店街の駐車場を利用した、子ども向けのスポーツ体験広場。スラックライン、キックターゲット、ストラックアウト等に挑戦。多くの子供たちが来場し、楽しくチャレンジしていた。



#### ■茶っとプロジェクト-小成園café

商店街のお茶屋さんの2階のスペースを利用したカフェ。小さな色紙にメッセージや絵を描いて台紙に貼る参加型モザイクアートも実施した。多くの家族連れの方々に来場いただいた。



#### ■健康長生きプロジェクト-茶っと、はじめてみヨ〜ガ

茶っとプロジェクトのカフェと同じ会場を利用して、初心者向けのヨガ体験会を実施。ヨガ体験の終了後は、地元の「潮風ハーブ」を使用したハーブティーの試飲も行った。



#### ■昭和感プロジェクト-みやっこ商店

市役所分庁舎の駐車場で、駄菓子や昔のおもちゃの販売と、けん玉やメンコなどの昔遊び体験を実施。子どもだけでなく、大人も昔を思い出しながら楽しく過ごすことができる場となった。



#### 4 まとめ・今後の展開

参加した市民に、自らが当事者となって関わる＝「まちを育てる」という意識が芽生え、一定の成果(市民参加や反響など)を実感することができた。特に、他の団体との連携による活動の広がりの可能性も認められた。宮古市内のまちなかに存在する伝統的な商家(旧家)の土蔵などを地域資源として捉え、これらが賑わいの場の核となりうる可能性が示唆された。

今後は、「行政主導から脱却し、市民主体の活動への移行、継続が必要」との仮説を立て、市民が将来に向けて関わり育てていく賑わいの場の創出を、実証活動を通して具体的に提案することを目指す。

#### 5 謝辞

市民ワークショップに参加していただいた「まちづくり市民会議season2」メンバーの皆様、および協力していただいた関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。